

一般財団法人スポーツエコシステム推進協議会設立趣意書

当協議会は、DX時代のスポーツ産業の振興とスポーツエコシステムの確立を目的として、企業や法律事務所が集まり発足した、任意団体であるスポーツエコシステム推進協議会が設立したものです。同団体においては、スポーツのDX化及びこれを通じたスポーツ振興や社会課題の解決に向けた課題について検討してまいりましたが、このたび一般財団法人となることにより、自立した団体として、より深くスポーツ界との協奏を深めながら活動していくことを決意するものです。

欧米では、コンテンツ産業、データ産業としてのスポーツビジネスや、スポーツチームやスタジアム・アリーナを中心とした地方創生など、スポーツを中心とした自律したエコシステムが形成、構築されています。特に近年では、スポーツのDX化が進んでおり、例えば、SNSやバーチャル技術等を活用した試合観戦の楽しみ方の多様化や新たなファンコミュニティの形成、さらにはブロックチェーン技術の活用による新たな経済圏の創出など、デジタルビジネスの可能性にも注目が集まっています。

他方、2018年に米国全州でスポーツベッティングを禁止していた連邦法が違憲となって以来、米国各州で続々とスポーツベッティングの規制市場化が進み、世界における市場規模が急速に発展、拡大しています。日本のスポーツも諸外国からのスポーツベッティングの対象になっており、アスリートの保護及びスポーツ団体の権利保護の観点など、課題解決に向けた取り組みが必要な状況となっています。

このような世界情勢の中で、当協議会としては、これまで我が国のスポーツの価値を体現してきたアスリート、そして、アスリートを支える関係者に最大限の敬意を表しつつ、日本のスポーツ文化を尊重し、これに即する形で、スポーツのDX化によるファンエンゲージメントの拡大、データ等を活用したスポンサーシップおよびメディア連携の在り方、スタジアム・アリーナの収益改善、更なるスポーツ振興くじの充実など、様々なテーマ・論点について関係者や各界の有識者を交えながら議論し、必要に応じて提言するなどしてまいります。当協議会としては、DXを有効活用すること、そしてDX推進に必要なルールやガイドラインなど基盤を整備することで、スポーツの魅力・価値をさらに高め、スポーツ界全体をよりスケールアップすることができると信じています。そして、新たなルール整備等を通じて生み出された収益は、スポーツ振興やスポーツの価値最大化に充てられるとともに、教育や福祉、地方創生などのさまざまな社会課題の解決に向けた環境整備に貢献することを目指してまいります。

長い歴史の中で、我が国のスポーツ界には多くの魅力や人材、ファン、そしてそれらを支えるステークホルダーが育まれてきました。このようなステークホルダーが一体となって、ステップバイステップでスポーツ産業を起点とする新たなエコシステムの形成と発展を目指すとともに、資金を生み出す前提となるスポーツを取り巻く権利の在り方の整理及び明確化や、資金と人材の循環によりスポーツの価値を維持し、高めるためのシステム作

りの在り方の検討、その前提となる資金循環の透明性の確保などを図ってまいります。

これらの実現により、DX 時代においてアスリートやスポーツ界の発展に貢献するとともに、スポーツがあらゆる人々の支えとなって持続可能な社会に寄与していくことを後押ししてまいります。